

対面で実施するボランティアに参加する場合の要チェックポイント

・活動前

- (日常的に、そして活動前に) 検温する
- (日常的に、そして活動前に) 体調チェック
- 同居家族や身近な人が「濃厚接触者」「健康観察対象者」でないか認識しておく
- 活動先のホームページや募集案内を見る、団体へ問い合わせをするなどして感染防止策を調べる
- 自らの意志や責任で活動に参加するかどうかを決める
- 活動先が求めている感染防止策を確認し、実践する
- ボランティア保険に加入する

・活動中

- 正しいマスクの着用
 - 咳くしゃみエチケットの徹底
 - こまめな手洗い、うがい、手指の消毒
 - 3密対策：ソーシャルディスタンスの確保、こまめな換気の実施
 - 水分補給以外の飲食を原則避ける
- ※どうしても食事を摂る必要がある場合、他の人と離れた場所で食べる、会話を控えるなどの工夫をする
- 近距離での会話、大きな声を出すことを控える

・活動後

- (日常的に、そして活動前に) 検温する
 - (日常的に、そして活動前に) 体調チェック
 - 同居家族や身近な人が「濃厚接触者」「健康観察対象者」でないか認識しておく
- ※万が一、後日ご自身の感染が発覚した場合や、周囲に感染の可能性のある人が出た場合には、早急にその旨を活動先に報告しましょう。

身の回りに「濃厚接触者」「健康観察対象者」がいる場合や、少しでも体調不良や異変を感じている場合、絶対に活動に参加しないでください。「これくらいなら大丈夫」という安易な判断は危険です。もし活動を休むことになった場合は、丁寧に連絡することを心がけ、その後の対応についても話し合しましょう。また、活動前後や活動中に気になることがあれば遠慮なく活動先の方々に伝えましょう。活動先には子どもや高齢者、基礎疾患をお持ちの方など、感染したら重篤な状況になる可能性が高い人もおられます。そのような感染リスクの高い人たちとも過ごす上で、活動先から案内されていること以外にも注意すべきことは他にもないか自分自身でしっかりと考えて行動してください。現場の状況も踏まえながら、ボランティアからも感染防止策や安全面でのしくみづくり等を提案しましょう。

不安なことや気になることがあれば、ヒューマン・サービス支援室までお問い合わせください。